

# 愛恵だより

第 12 号

2023年7月1日 発行

発行：公益財団法人 愛恵福祉支援財団  
〒114-0015 東京都北区中里 2-6-1 愛恵ビル5F  
電話：03-5961-9711(代) / FAX：03-5961-9712  
<https://www.aikei-fukushi.org/>

「愛恵」の題字は初代理事長 三吉 保 氏による

## セツルメント精神をいかに継承できるのか



横須賀基督教社会館  
理事長 岸 川 洋 治

『愛恵学園物語—その50年の足跡』で描かれている活動の歴史は、本の中では一言も出てこないが、まさに「セツルメント」活動そのものだと思う。「セツルメント」という言葉は、今や死語となっている感があるが、あえて愛恵福祉支援財団のルーツである「セツルメント」を取り上げてみたい。

サムエル・バーネットは1873年、東ロンドンのスラム街、ホワイトチャペルにある聖ユダ教会の牧師となる。妻のヘンリエッタと共に地域の問題解決に直ちに取り組んだ。小学校を再開する、少女たちの夜間学校を開く、勤労者の教養のための成人学級を開く、母親クラブを組織する、救貧委員会員となる、芸術・文化活動を展開する、児童の夏休みを利用した小旅行、空き地を取得して遊び場を造り子どもにはスポーツを提供し、大人にはダンスパーティや花の展示会などを開き生活環境の改善に乗り出した。

1875年、バーネット夫妻は母校オックスフォード大学に8週間滞在し、スラムの実情を学生たちに伝え、休暇中にスラムに来て、状況を知ることを進めた。これに応じた学生の中にアーノルド・トインビーがいた。彼はバーネットの働きに共鳴し度々東ロンドンで過ごし、悲惨な労働者の生活を体験、その生活改善のために経済学を学んだ。卒業後オックスフォード、ベリオル・カレッジの講師兼学生監として、イギリス産業革命論を講じ、象牙の塔を捨て労働者向けの啓蒙的講演会を開くなど労働者の生活改善に努めたが、1883年、31歳で夭折した。

トインビー死去後、バーネットがオックスフォード大学でセツルメントを推進する必要性を訴え、ケンブリッジ

大学からの賛同者とともに計画を具体化した。1884年トインビー・ホールと名づけたセツルメントの拠点が誕生した。

持てる者とそうでない者が人格的接触をとおして生活の向上を図ろうというのが目的である。レジデントと呼ばれる学生が、住民に対して教育を与え、同時に住民の生活から彼らが学び文化を共有する。このような在り方からワーカーとクライアントは平等であるというソーシャルワークの原則が生まれた。

セツルメントは世界中に広まり、日本では1897年設立のキングスレー館が最初のセツルメントである。1930年代には大学、民間、公立のセツルメントが全盛期を迎えるが戦時中、活動は衰退した。1958年隣保事業として社会福祉事業法に位置づけられたが、財源的裏付けがなく、閉館が相次いだ。現在、セツルメント精神を継承するキリスト教系の施設が中心となり「日本地域福祉施設協議会」が組織され、毎年200人規模の全国地域福祉施設研修会を開催し、愛恵福祉支援財団は運営補助を出している。

セツルメントの精神を若いソーシャルワーカーに継承して欲しいというのがこの協議会の設立目的であるので、特に下記の2項目を伝えたい。

セツルメントの歴史から学ぶ今日的意義は、第1に法律や制度に縛られないボランティアを根底に持つ地域福祉課題への取り組みが挙げられる。現代の社会には多様な生活課題が顕在化してきている。それらのニーズに速やかに応える機動性が求められている。『愛恵学園物語』にはボランティアに溢れる事業展開が描かれている。第2に「人間と人間との人格的ふれあい」である。「愛恵学園海の家」での小中学生キャンプでは、後に牧師や大学教授となるボランティアの学生と子どもたちの人格的交わりがなされたことであろう。その学生の中に佐藤千郎元社会館理事長や浜野一郎明治学院大学教授(元愛恵福祉支援財団理事長)など多彩な人たちがいた。セツルメントを学ぶ者として愛恵学園の50年の歴史は、大変興味深い。

## カンボジア 専門ソーシャルワーカー協会（APSWC）支援、視察団 カンボジア政府関係者との交流

本年度で3年目を迎えたカンボジア支援の視察のため本年1月、プノンペンを訪問した。  
1月23日には同国政府の「社会問題・退役軍人・青少年更生省」を訪ね同省副大臣等と人材育成、ソーシャルワーカーの現況について話し合うことができた。  
以下に要点を記す。

### 1. Mr.Channy（副大臣）よりカンボジアの社会福祉制度と人材育成に関する説明

- カンボジアは地雷、子どもの保護（孤児）、子どもの薬物依存、老人、ひとり親、洪水などの
- 災害など、多くの社会問題を抱えており、社会政策省（MoSVY）の改革が急務である。
- 社会政策省では、①社会福祉サービスの拡充、②IT化、③法整備（障害者福祉法、児童保護法など）を進めている。
- 2016年に“Guidelines on Basic Competencies for Social Workforce in Cambodia”が制定され、
- 専門職ソーシャルワーカーとしての一定の水準を保つソーシャルワーク人材の養成を目指している。
- 方向性としてはソーシャルワーク人材の組織化と専門職化を考えている。

### 2. 愛恵からの要望

- ソーシャルワーカーの専門職の組織であるAPSWCを支援してほしい。
- 政府が進めるカンボジアのソーシャルワーカーの資格や人材育成にAPSWCも参加させてほしい。
- APSWCが国際ソーシャルワーカー連盟（IFSW）に加盟することにより、世界的に認められ、
- 交流できることを願っている。



### 3. MoSVYより愛恵に期待する事

- これまでカンボジアへは主にユニセフなど欧米のNGO団体が支援してきたが、カンボジア政府はアジアの日本から社会福祉の政策や技術を学びたいと思っている。
- 愛恵がAPSWCを支援してくれることに感謝している。
- APSWCにも、ソーシャルワーク人材のワーキンググループに加わってほしい。

### 4. 質疑応答

- ① 愛恵よりカンボジア政府へ：ソーシャルワーク人材の質の担保であるが、日本は30年以上前社会福祉士など国家試験による国家資格を導入したが、単に登録制度による国（シンガポール、マレーシアなど）もある。カンボジアはどの方向を目指しているのか？

答え：今のところ、登録制度を考えている。

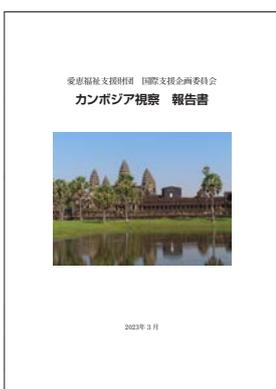
- ② APSWCより政府へ：APSWCがソーシャルワーカーの登録制度（研修や登録事務）などに関与することは考えられるか？

答え：APSWCにも是非関わってほしい。ソーシャルワークデーでは、共に行動してほしい。

国際支援企画委員長 平田美智子 記  
※本文はカンボジア視察報告集より転載

## カンボジア支援のための視察報告書が発行されました

公益財団法人愛恵福祉支援財団のミッションに国際性が掲げられています。2021年度より3年間の計画で、カンボジア専門ソーシャルワーカー協会（APSWC）への支援がスタートしました。愛恵としては継続的な海外への支援は初めての経験であるので、協会のメンバーにお会いし、カンボジアの実情を視察し、できれば政府、関係機関とコンタクトしたいと考えて訪問した。本報告書はその内容をお伝えしています。



## 必要に、応える… 社会福祉活動を支援します

コロナ禍にあつての気づきは、「定点」からでは見えないものがある、ということでした。財団も事業を中止、縮小しましたが、次ぎへの発進ため、立ち位置を少し移してみることを試みました。見えたのは、「必要に、応える。」ということでした。

財団側からの呼びかけ、案内によらず、社会福祉諸団体が人材の育成のため、必要な研修や講座・講習・セミナー、など、求めに応じて後援、共催することで支援します。

### 研修事業支援 (海外・国内)

社会福祉の向上、発展のため協業する団体や異業種間の組織、法人が人材の育成、制度の在り方等の学び・研修の機会を海外のもとめるとき、また国内において同様の研修を計画・実施することを支援します。

研修案を公募します。

内容を審査し決定します。

詳細はホームページをご覧ください。



### 講座講習セミナー開催事業

社会福祉の担い手には、常に新しい知識や技術を学習し社会福祉活動に寄与することが期待されるので、求める知識、技術等の習得の機会が得られるよう、企画、開催の支援をします。

### 求められる公益事業を伸ばすために

不安や困難が深まり、日常社会へ染み出てくる新たな困難の解決のために活動している組織、団体などからの要請に応え、支援する。

助成金給付事業、奨学金給付事業、社会福祉啓発事業 (愛恵エッセイ賞募集)、国際支援事業は変更なく実施する。

## コラム おひとり様を生きる

### 川柳のある暮らし

川柳で自分の胸の内を表現したいと思い立ってから、8年程経った。作りはじめて数年経ってから、年賀状を交換している方々に川柳を添えて届けたいと思い立った。今までに作った川柳 11 句と作った時の心情を思い出した範囲で書き留めてみました。御一読下されば幸いです。

#### 忘れもの お寺の鐘で思い出

買い物の帰り、近所の泉蔵院の前を自転車で通過した時お寺の鐘がゴーン あ 長ネギ買うのを忘れてた

#### 物干しに 今日も出してる 元気で

妻を亡くして一年程経った夏 洗濯物を干しながら空に向かって、亡妻に囁いた

#### 生き方を 手洗う孫から教えられ

コロナ禍で孫娘の丁寧な手洗いを見て、雑な洗い方の自分を恥じた

#### ふたり来て さんになん よにん掘炬燵

妻が亡くなってから、年末年始は娘の義父の那須の別荘に招かれて、掘炬燵で孫とトランプ 普段寂しい 一人暮らし、賑やかさが身に沁みた

#### 八十路には子供と孫とに支えられ

今年の秋には私も 80 歳 毎日必ず安否の電話をくれる娘、たまに顔出す息子と孫

#### 妻似の雲 見つけてそっと手を合わす

自転車で買物に出掛けた途中 妻似の顔の雲を見つけ、自転車を止めて思わず手を 合わせた

#### 日々励む家事はいつでも無観客

妻を亡くして 6 年 料理、洗濯、掃除、少しは上手になった。しかし誉めてくれる人が近くにいない

#### 遺影とは 生前よりもよく喋り

話し相手がいないので つい……

#### 出たところを月に見られた 縄のれん

近所の馴染みの縄のれん ほろ酔い機嫌で 店を出た時 お月様に飲み過ぎはダメよと 言われた気がした

#### 暇なのに何故が苛立つ待ち時間

毎月行く病院で診察待ち、会計待ち、薬待ち、何時間 待たせるんだ!!

#### 昔空 我が持ち時間問うてみる

私も今年の秋で 80 才。88 才まで頑張れば 孫娘は成人式

公益財団法人 愛恵福祉支援財団 理事 田中 弘

## 広くこまやかな助成事業をめざして



### モザンビークの地において (一般社団法人 モザンビークいのちをつなぐ会)

モザンビーク北部は、イスラム過激派のテロ紛争が分散拡大していますが、支援の光が当たらず、見捨てられたままのエリアです。現地で活動する草の根 NGO は当会しか存在

せずコミュニティのみんなから厚い信頼と期待を一身に受けています。

これからも子供たちが健やかに、明るい未来を切り開いていけるように、情熱的かつ地道に「直接」活動を行っていきます。

今後とも、何卒、よろしくお願い申し上げます。

### さすまた、ネットラウンチャーで訓練 (社会福祉法人旭こども園)

助成金で購入させていただきましたさすまとネットランチャーを使い、早速職員で訓練を行いました。

さすまたでは体のどの箇所を押しばいいのかわからないのか、ネットランチャーはいつでも使えるようセットしておくなど職員の共通理解を図りました。

防犯バルは、散歩時に持って行き、室内の壁にも掛け、すぐに使用できるようにしています。



### ソフトで低重心、さわり心地も気持ちよく (NPO 法人 cocoiro)

体操経験のある指導員が付き、体の使い方を教えながら何度も挑戦しています。不登校の児童や運動の苦手な子どもお友達が跳んでいる様子を見ながら挑戦し、跳んでいました。



### マンガ「ひとりぼし」の刊行 (認定 NPO 法人

みらいプラネット)

あらゆる社会的弱者といわれる方たちへの先入観や理由のない偏見や差別を少しでもなくしたい、という願いをわかりやすく伝えたいとの意図で創作されています。9団体からの支援による。

## 愛恵ビル 1階10A室が貸会議室用に整備されました

プレゼン用、ビデオ鑑賞用に利用できる大型スクリーンを設置。

Zoom ミーティングも使いやすくなりました。

10A 室は定員：30 名まで

その他会議室には、3 F ピアノ・4 F 電子ピアノを設置、各室にはマイク・プロジェクターを貸し出し可能です。

ご利用お申し込みは、事務局まで。



## 2022 年度 愛恵エッセイ受賞作品が決定しました



第 24 回を数える愛恵エッセイ賞が決定し、作品集が出来上がっています。

“豊かな福祉社会を創るために” - 断絶を乗り越えて - と題して、今回も多くの方々からご応募がありました。

学生の部 8 作品、専門の部 4 作品、一般の部 7 作品、今回初めてとなる外国籍の部 4 作

品がえられました。

ご希望の方には作品集を配付しておりますので事務局までお申し込み下さい。

### 愛恵福祉支援財団 案内図

JR 駒込駅 東口より徒歩 2 分  
北区中里 2-6-1 愛恵ビル 5 F  
電話 03 (5961) 9711

